



第46回消防救助技術岩手県大会

令和5年6月28日(水)、矢巾町の岩手県消防学校で、第46回消防救助技術岩手県大会が開催されました。この大会は、より高度な救助技術を修得するとともに、日頃の救助技術訓練の成果を披露することを目的に岩手県内の各消防本部の代表が一堂に会して行われました。

遠野市消防本部からは、3ヵ月間、訓練に汗を流した11名の隊員が、5種目に出場し、2人1組で15メートルのロープを登る「ロープ応用登はん」に出場した伊五澤弘樹・佐々木丸太チームは訓練の成果を発揮し、11.8秒のタイムで優勝しました。この2人はさらに訓練を重ね、8月に北海道札幌市で開催される全国消防救助技術大会に出場します。



ロープ応用登はん



ほふく救出



ロープブリッジ救出



優勝した
伊五澤・佐々木チーム

～各種目の結果～

【ロープ応用登はん】

伊五澤弘樹 隊員
佐々木丸太 隊員
1位/11チーム

【はしご登はん】

小水内佳紘 隊員
2位/15名

【ロープブリッジ救出】

小水内晶紘 隊員
高橋慶太 隊員
久保田裕人 隊員
鈴木延宙 隊員
6位/8チーム

【ほふく救出】

小向宏樹 隊員
古舘結似 隊員
菊池優斗 隊員
16位/21チーム

【ロープブリッジ渡過】

小山光 隊員
9位/9名

熱中症を防ぎましょう

熱中症は、屋外だけではなく、屋内でも発症する危険性があります。以下の点に気をつけましょう。

- 扇風機やエアコンで温度を調節し、室温をこまめに確認しましょう。
- 屋外では、日傘や帽子を着用し、日陰でのこまめな休憩を心がけましょう。
- 体のほてりがあるときは、保冷剤や冷たいタオルなどで体を冷やしましょう。
- 水分補給はとても大切です。喉が渇いていなくても水分、塩分、スポーツドリンクなどを補給しましょう。

【特に注意が必要な方々】

- ・ 子供は体温の調節能力が十分に発達していないので、気を配る必要があります。
- ・ 熱中症患者のおよそ半数が65歳以上の高齢者です。高齢になると、感覚機能や調整機能が低下する傾向にあるため注意が必要です。

